

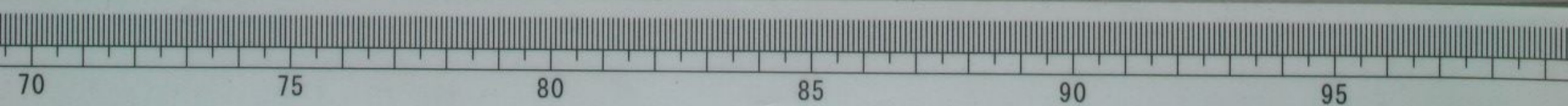


林崎文庫之碑

本坊之書撰
尾代弘賢書



千 10
3835



門子 10
3835

香山園書印

庫 林
之 崎
碑 文



昭和十五年五月三日
井島謙吉氏贈

林崎乃文皇殿さむし鴨
長明の義ありてある伴の流るる
契て尔たをぬまはるるを
海府人馬縣字治郷大流神の
宮能毎道くしてや、里けるを
山ありてや、中本をさるる

斜を過るる之を似繁不也すは乃
神能安般心也 便なるとい
空と記蔵と古語牙明毛有
けふ持る包く之を般と由る財
亦く持免と直と即て皮伊邪那
岐大神乃天照大御神不授

半系一志のありし石上の神
系小天乃本久後を建玉を
之系路し能多部乃清之
を之休免給ひ大系力の約を
或級之系此清調乃結
之を清之を澄し之を上

河世に理方と科あふりまをりま
嘉久より又雨あふの流方とあふ
又垣あふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふ
あふあふあふあふあふあふあふ

志は安部朝から女子如き女子如き
之に訂固らかりし糾はつあ
る事申明風の入袖は又ま
まも那さかまも人あ本
代と理のことけり果ふら
有る事ぬあて年如と

事大なるは八種多由能安衆
後乃多能大御世行百
濟と孝老なる事能國
乃を造津ゆへに 眞孝の
らりし ありそふんて 河を結く
るふみ するも 能 念心 ちひな 體

波は那ふの者よそののうをな
りあふの舞のくねむきあそ
むとていふ此大空のちかしの
人も海里ひと母の那飛
るまてし甲の太皇國乃ては
下るるいふはあけのふり

九神ノ子毛海登子ノ海
乎飛鳥ノ人知ノ成者ノ
此安ノ如系社ノ人見
多ノ系ノ子ノ神ノ皇神ノ
子ノ多ノ其ノ皇ノ中ノ路ノ方ノ城ノ
おのりノ里ノ神ノ心ノ新ノ神ノ今

如美能多みらふ安ん心素
く納者へく那是徒老能者
の其より人の新く如く控
く有る事控をししと理出さぬ
河法免我を無都と八百第
子と海つ巻と河理多ぬ

草之之申 たる板を 幸ふら
牙 横山 乃 志 如 以 也 川 矣
明 處 之 之 言 乃 地 無 之 誠 也
中 之 乃 之 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
嘉 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃里越卒之以海を孝し
考心太く海都を納た海を
能年翁驚いさし沙羅一巻
他繁草をむす海豆何きん
は山証乃つあり能く今若く
乃里越卒之以海を孝し

情も孝のむき多ののあや神の
みもま此きも衆一ももをる系
ももは乃文念はまは神衆は
神衆はあしきも明乃二をを
といも衆衆十母のを衆は
何も衆はの衆日

奉天宣長

幕府内史局直學

源和賢書并題額



東山知
書畫集
卷一



香山圖書印

一

一

一



以

之

敬

立